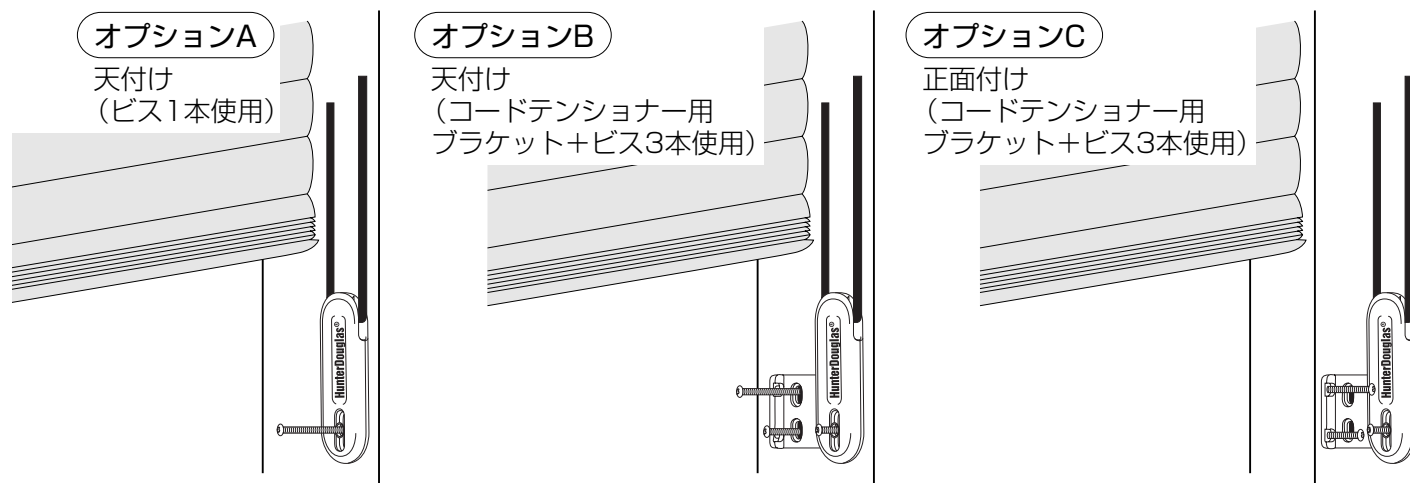


1 取り付け方法の決定

- 下記3種類のオプションの中から適切な取り付け方法を選んでください。

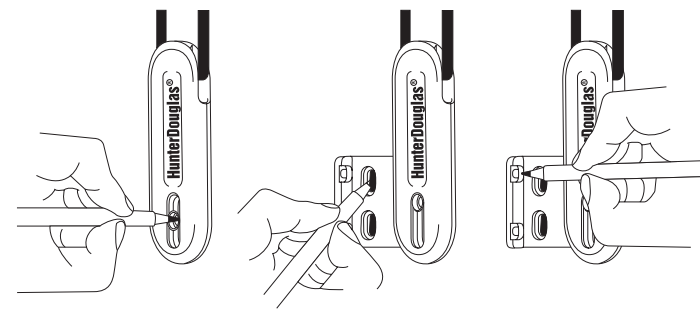
△注意

- 天付けの場合は窓枠に、正面付けの場合は壁に取り付けてください。



2 取り付け位置の決定

- ①コードテンショナー（およびコードテンショナー用ブラケット）を取り付けたい位置に合わせてください。
- ②ビスを取り付ける穴に、鉛筆で印をつけてください。



△注意

- シェードを昇降した際に、シェード本体とコードテンショナーとの接触がない位置で、かつ、お子様やペットとコードとの接触を出来る限り避けるため、シェード本体に近い位置にしてください。
- 安全でスムーズなコード操作のため、コードがたるんだり、張りすぎたりしない位置にしてください。

3 下穴開け

- 電動ドライバーでビスまたはアンカーの取り付け場所に下穴を開けてください。

アンカーが必要な場合

直径5.6mmのドリルビットを使用して穴を開け、その穴の中にアンカーをたたいて入れてください。

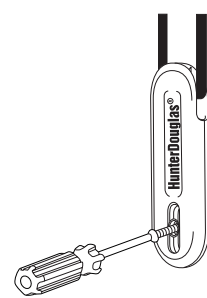
アンカーが不要な場合

直径2.4mmのドリルビットを使用し、32mmの深さの穴を開けてください。

4 取り付け・固定

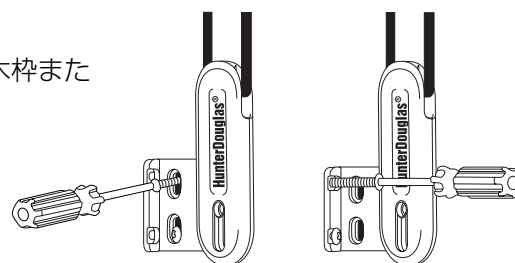
オプションA

- ①コードテンショナーを、コードテンショナー用ビス（大・41mm）1本で窓枠に直接取り付けてください。
- ②一度ビスを最後まで締め付けた後、コードテンショナーを動かしやすくするため、ビスを1/4回転（=90度）戻して緩めてください。

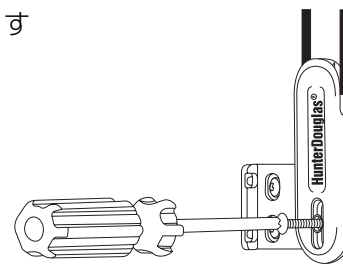


オプションBおよびC

- ①ブラケットを、コードテンショナー用ビス（大・41mm）2本で木枠または壁に取り付けてください。
- ②コードテンショナーを、コードテンショナー用ビス（小・9mm）1本でコードテンショナー用ブラケットに取り付けてください。

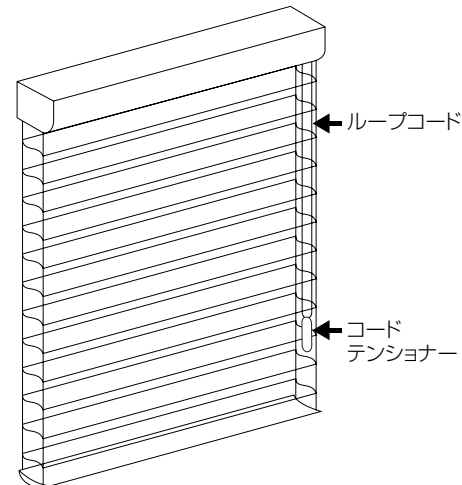


- ③一度ビスを最後まで締め付けた後、コードテンショナーを動かしやすくするため、ビスを1/4回転（=90度）戻して緩めてください。



●操作方法・お手入れ方法

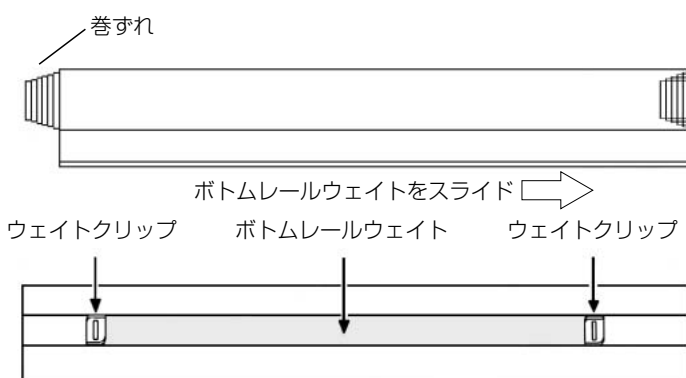
■シェードの昇降と開閉方法



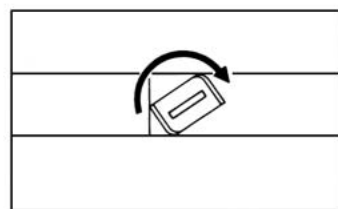
- ループコードを引くことによりシェードが昇降します。
- シェードを一番下に降ろした状態でのみ、ファブリックが開閉します。

■巻ずれの調整

- ファブリックの巻取りが片寄った場合には、ボトムレール裏側のボトムレールウェイトを巻ずれと反対の方向に少し（2～3cm）スライドさせ、ファブリックを一度降ろした後、巻直してください。（巻ずれがなおるまでスライド及び巻直しをくり返してください。）



- ボトムレールウェイトをスライドさせる際には、マイナスドライバーでウェイトクリップを右まわりに回して、ボトムレールウェイトをゆるめてください。（右側のウェイトクリップから先にゆるめてください。）



■お手入れ

- 普段のお手入れは、ハンディモップで軽く拭きとるか、掃除機の吸引力を弱くしてホコリを掃除してください。
- シンナー、ベンジン等は使用しないでください。
- A1、A2、A4およびA19は超音波洗浄も可能です。詳しくは専門業者にお問い合わせください。

取り付け・取り扱い説明書



この度は、ハンターダグラス シルエット・シェードをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
お取り付け、ご使用前にこの説明書の下、各注意および各記述中の△注意・お願いの表示に留意しながらお読みいただき正しくお取り付け、ご使用くださいますようお願いいたします。



注意

- 付属部品のブラケットは残すことなく、全て使用してください。
ネジは、取り付け強度の安全確認のない限り、付属品以外のものを絶対に使用しないでください。
- 部品類を省略した場合や、規格外品を使った場合、所定の取り付け強度等基本的な品質が損なわれ故障の原因となります。
- ブラケットの取り付けは、ネジが木枠等の下地に確実に固定されるよう注意してください。
- 固定が確実でない場合、シェードが外れて落下し、重大事故となります。
- 本来の調光シェードとしての目的以外に使用しないでください。
- 物を吊ったり、ぶら下がる等の誤った使い方によっては、落下事故等重大事故の原因となります。

この説明書の中には、必要に応じて下記の表示があります。

- △注意：注意を怠った場合シェードが落下する等、事故の原因になる重要な注意点を示しています。

△注意

- シェード本来の目的以外に使用しないでください。
- ヘッドレール、ファブリック、ボトムレール等に物を吊下げないでください。
- シェード本体を直に引っ張らないでください。
- ループコードは、必ず垂直方向に垂れた状態で操作を行ってください。
- お子様がループコードで遊んだりすると大変危険です。特にご注意ください。
- 昇降の妨げになるものはシェードのそばに置かないでください。

日本ハンター・ダグラス株式会社
Hunter Douglas Japan Limited

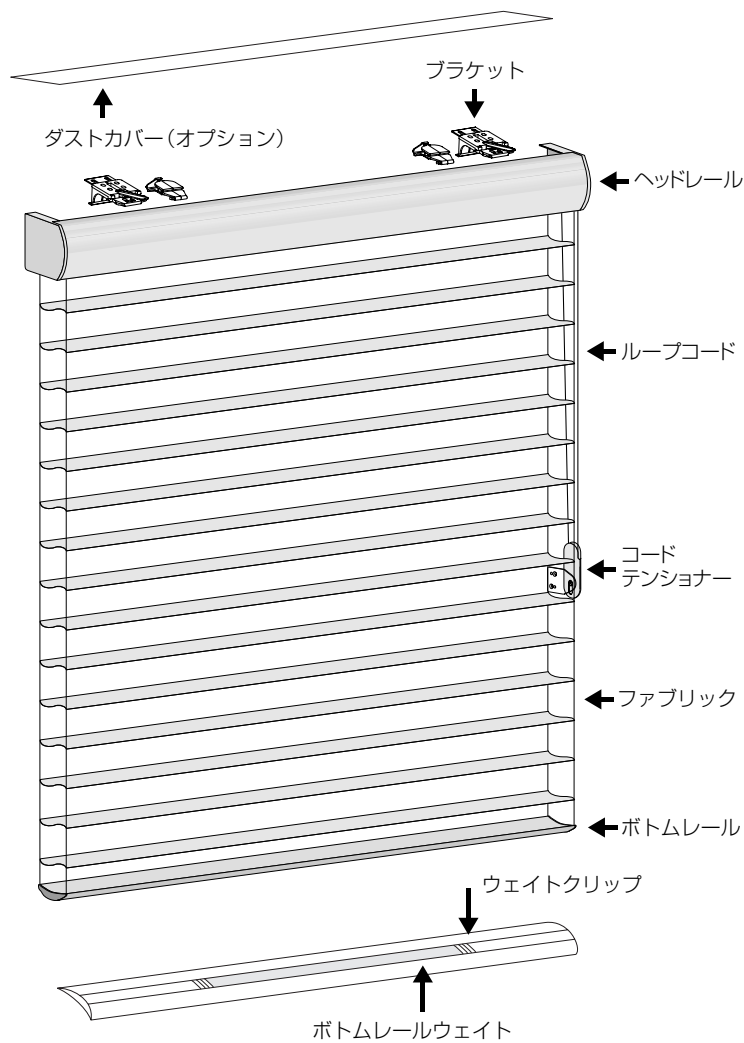
東京本社 Tokyo Headquarters
〒140-0011 東京都品川区東大井2-13-8 ケイヒン東大井ビル2F
Tel:03(5762)4826 Fax:03(5762)4801

茨城工場 (ISO9001認証取得) Ibaraki Factory
〒311-3436 茨城県小美玉市上玉里50-138
Tel:0299(26)8566 Fax:0299(26)8825

www.hunterdouglas.asia

● 部品名称..... まずはじめに、部品の確認を行ってください

■ 部品名称



■ オプション

ダストカバー	1枚
--------	----

■ 梱包内容

部材・部品	個数	備考
シェード本体	1台	ループコードの左右配置が、ご注文どおりか確認してください。
ブラケット	2~4個	
ビス	ブラケット数×2	
両面テープ	ブラケット数×1	
コードテンショナー用ブラケット	1個	
コードテンショナー用ビス (大・41mm)	2個	
コードテンショナー用ビス (小・9mm)	1個	
コードテンショナー用アンカー	2個	
取り付け・取り扱い説明書	1部	
保証基準	1部	

■ ブラケット数

製品幅 (mm)	ブラケット数
~ 913	2個
~ 1999	3個
~ 2440	4個
~ 2770	5個

● 取り付け方法... ①→②→③の順序にしたがってお取り付けください

■ 使用工具

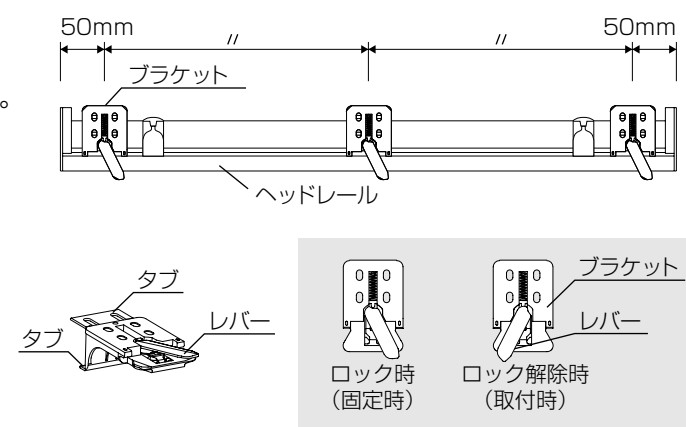
- プラスドライバー
- マイナスドライバー
- メジャー
- 電動ドライバー
- プライヤー

▲ 注意

- インパクトドライバーは使用しないでください。インパクトドライバーで取り付けを行うと、ブラケットが破損する場合があります。

① ブラケット取り付け位置を決めて、両面テープで仮止めする

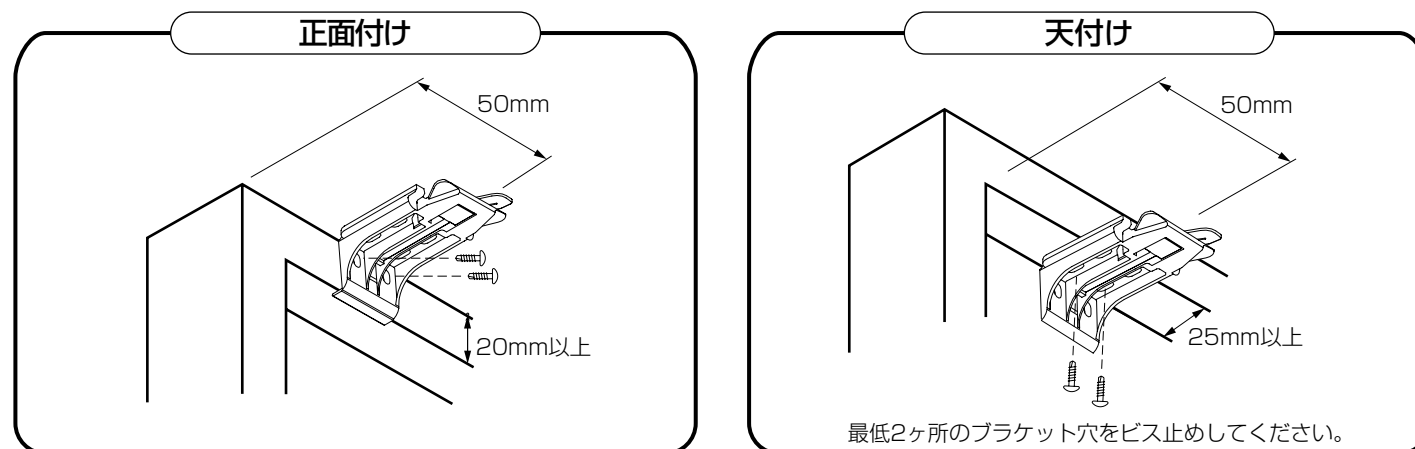
- 上部のタブをプライヤーで切り取り、必要に応じて水平を保つためのスペーサーとしてご使用ください。
- 下部のタブが不要な場合は、切り取ってご使用ください。
- 最初に両端のブラケットの位置を決め、ブラケットが一直線上に並ぶように、窓枠に両面テープで仮止めしてください。
- 3個以上のブラケットを使用する場合、中間のブラケットの間隔を均等に割り振ってください。



▲ 注意

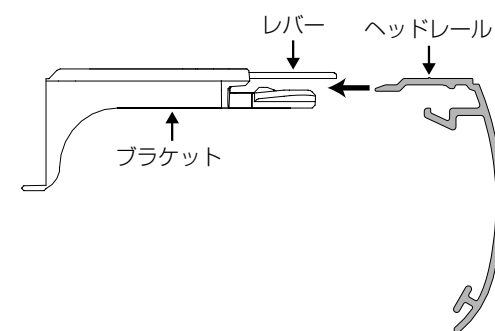
- 付属のブラケットは残すことなく、全て使用してください。
- ブラケットは、水準器で取り付け位置が水平であることを確認した上で取り付けてください。水平状態でない場合は、ブラケットから切り取ったタブをスペーサーとして使用し、水平にしてください。水平が保たれないと巻ずれ (P6参照) が調整出来ない場合があります。

② 取り付けビスを使ってブラケットを窓枠に固定する



③ シェード本体を取り付ける (ブラケットにヘッドレールをはめる)

- ブラケットは、全てロックを解除した状態で取り付けてください。レバーを右向きから左向きに切り替えると、ロックが解除されます。
- ブラケット本体とレバーの間にヘッドレールを差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。正常に取り付けられると、レバーの向きが左向きから右向きに切り替わります。



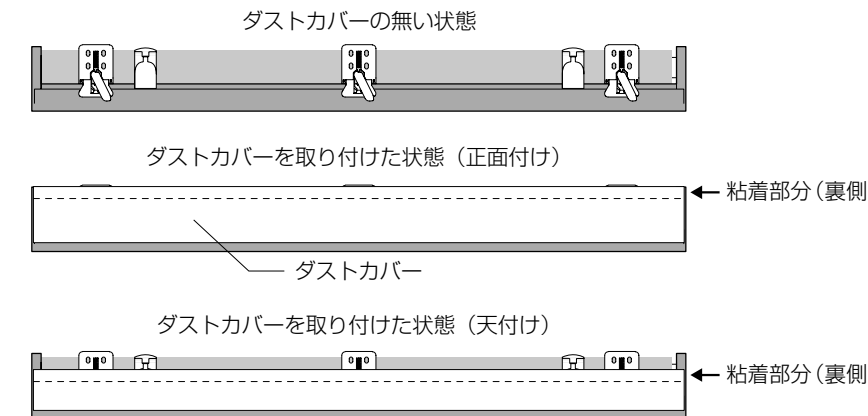
▲ 注意

- レバーの先端がヘッドレールの手前に出て、ヘッドレールをしっかりと引っかけるまで確実に押し込み、ヘッドレールが完全に固定されていることを必ず確認してください。
- マティースシリーズ (A20およびA27) の場合、ヘッドレール上面部の透明保護シートの一部 (ブラケット取り付け部分) をはがした後にブラケットを取り付け、ヘッドレールが固定されたことを確認してから、透明保護シートを全てはがしてください。

オプション

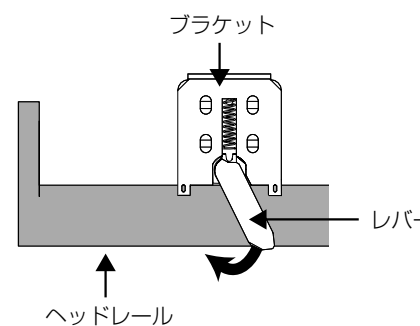
■ ダストカバーを取り付ける (ヘッドレールにダストカバーをかぶせる)

- ダストカバーの裏紙をはがし、粘着部分を壁側に向け、ブラケット上部に貼り付けてください。
- 必要に応じて、ダストカバーのスジに沿ってカットし、奥行きを調整してください。



■ シェード本体をブラケットから取り外す場合

- レバーの向きを左向きに切り替え、ヘッドレールを前に少しずつずらしながら引き出します。



● ユニバーサル・コードテンショナー 取り付け方法... ①→②→③→④の順序にしたがってお取り付けください

ユニバーサル・コードテンショナーは、お子様やペットがいらっしゃるご家庭でも安全にループコードタイプのシェードをご利用いただくための安全部品です。

■ 使用工具

- プラスドライバー
- 電動ドライバー
- ドリルビット：直径2.4mm (ビス用)、直径5.6mm (アンカー用)

▲ 注意

- ビスは、十分な取り付け強度が確保できる場所 (間柱のある場所など) に取り付け下さい。
- 十分な強度が得られない場所では、アンカーなどを使用して、取り付け強度を確保してからビスを取り付けてください。
- 金属面に取り付ける場合は、初めに下穴を開け、板金ビスをご使用下さい。

■ 取り付け手順

▲ 注意

- ユニバーサル・コードテンショナーの取り付けは、シェード本体を窓に取り付けた後に行ってください。